

集めた署名は本部へ集中！  
 保険証廃止するな！



改憲発議 NO!新署名	650 筆
核兵器禁止条約批准	529 筆
2 割化負担中止	512 筆
健康保険証を残せ	145 筆
マイナ強制反対	326 筆

2 月の九条合同アクション  
 2 月 17 日 (土) 14 時～亀有駅南口

## バレンタイン行動お疲れ様でした



2 月 10 日 (土) バレンタイン行動を行いました。12:30 からの本部での作業には 11 名、14:00 からの亀有駅での行動には 23 名の職員・組合員が参加しました。当日はリリオパークでイベントもあり人通りも多く用意したカード入りティッシュ 1000 個をほぼ配り切りました。子どもたちも多く、風船を用意するのが間に合わないほどの好評で用意した 100 個も飛ぶように子供たちの手にわたりました。保険証をなくさないでの訴えも行いました



能登半島地震への義援金募金も取り組みました。1000 円札を入れてくれる方や小銭を入れてくれる方など沢山の方から思いを寄せていただきました。集まった募金額は **14,887 円** です

## 中島辰猪医師 (青戸無産者診療所) の墓参が行われました

—全日本民医連ホームページより—

中島辰猪医師は青戸・亀有・千葉北部と 3 カ所の無産者診療所の医師を勤め、労働者・農民の医療に取り組みました。治安維持法により検束された後に盲腸炎が悪化し入院していた同愛記念病院から退院を迫られて亀有無産者診療所で治療していましたが悪化し再度同愛に入院、1932 年 2 月 12 日に 27 歳 8 ヶ月の生涯を閉じました。



民医連の運動がはじまるのは戦後になってからですが、その前史といわれるものが戦前の無産者診療所です。今から約 75 年前、東京の大崎に開設されて以降、1 病院 23 診療所が各地に建設されました。無産者診療所は、医療からみはなされた人びとへの診療とともに、当時の貧困な医療制度を根本から批判し、改善させる運動を続けていました。そのため絶対主義的天皇制政府のはげしい弾圧を受け、次々と閉鎖をよぎなくされました。この運動に参加した医師や看護婦は 戦後いち早く民主診療所づくりに参加し、全日本民医連結成の基礎を築きました。

※墓地は青戸慈恵医大病院そばの法問寺にあります